

令和８年度 第２回横浜市神大寺中央公園こどもログハウス指定管理者選定委員会 会議録	
日 時	令和８年８月１８日（火）１３時００分～１４時４５分
開催場所	神奈川区役所 本館４階 第１会議室
出席者	青木委員、新垣委員、岡野委員、小林委員、長濱委員 （計５名）
欠席者	なし
開催形態	面接審査公開・選定審議一部非公開（傍聴者なし）
議題	１ 面接審査 ２ 指定候補者選定審議
審議結果	１ 面接審査 (１) 対象施設（１施設） 神大寺中央公園こどもログハウス「トムソーヤ」 (２) 応募団体（１団体） 特定非営利活動法人こらぼネット・かながわ 面接審査は１団体あたり１０分間のプレゼンテーション及び２０分間の質疑応答を行った。 ２ 指定候補者選定審議 評点 82.00 点（合計点数 410 点） 委員の評点（平均点）は上記のとおりとなった。指定候補者となるための、選定委員会の定める最低基準点（加減点項目を除く評価基準項目の合計の６割以上）を満たすことを確認した。 第５期指定管理者の候補者として「特定非営利活動法人こらぼネット・かながわ」を選定することに異議が無かったため、同団体を指定候補者として選定した。
主な委員意見等	１ 面接審査質疑 委員）人員配置で常に２人とあったが、夏休みなどの長期休暇期間や土日などは人数を厚くしているのか。 団体）基本は２人で、土日祝日はシフトを別になっている。長期休暇は３～４人に増やしているほか、イベント時は全員出勤や事務局応援など臨機応変に対応している。 委員）午前は乳幼児と保護者、午後は小学生がメインになるかと思われる。乳幼児は保護者がいるので目が行き届くと思うが、小学生は動きまわるので２人で見るというのは大変ではないか。 団体）スタッフは館内が見渡せるスペースで事務作業をするよう配置している。現時点でカメラ等は設置していないが、２階などすぐに目の届かないスペースはあるので、新たに配置を検討する必要があると考えている。 委員）小学生にもなると、施設そのものに遊びに来る他、スタッフの魅力に引き寄せられて来館するという部分も大きいと考える。こども理解や、どうやってこどもの主体性を引き出すかなど、スタッフの資質向上につながる研修などは実施しているか。 団体）今までの運営を踏まえると、「自由に遊んでもらう」「こども同士の関係を見守る」というところが第一と考えている。昨今の状況から、防犯関係

の研修などを入れていく予定で、こどもに関する研修までは手が回っていない状況。しかし、必要な研修であると考えするため次年度以降検討していきたい。

委員) プレゼンの中で、広報は町内会やホームページを通じたものと説明があった。コロナを経て利用者が減っており、特に幼児の利用が減っている。町内会の広報は子育て世帯にあまり届かないという全国的な課題がある。より利用者を増やしていくということについて、戦略など考えていることはあるか。

団体) イベントなどは来ているこどもたちに知ってもらい、近隣へ広めてもらうというのが主。最近ではネットで情報を見て質問をいただくことも多いのでホームページも重要と考えている。

委員) 今の親世代は SNS に慣れているため、インスタで動画を載せるなどでもアプローチできるように思う。費用がかかることでもないの、そういう方法も検討していただくと良いかと思う。

2 選定審議

これまでの指定管理実績を有しており、施設運営や維持管理に関するノウハウが蓄積されていることから、安定的な施設運営が期待できる。また、他施設の管理運営を通じて培った知見や法人内ネットワークを活用している点に加え、施設修繕や遊具・玩具の製作を自ら行うなど、経費節減や利用者目線を意識した運営姿勢についても評価できる。

一方で、利用者増加に向けた積極的な取組や施設の認知度向上に向けた広報・PR活動については改善の余地があり、今後さらなる工夫が求められる。また、こどもを対象とする施設として、こどもの主体的な遊びや成長を支える視点、さらにはこどもと保護者を取り巻く環境の変化を踏まえた事業展開や人材育成について、一層の研鑽を期待する。

総合的に判断すると、これまでの運営実績や施設管理能力、継続的な運営体制等は評価でき、本施設の指定管理者として適切な能力を有していると認められる。

なお、本施設は利用料金収入がなく、利用者数の増加が直接的な収入増につながる仕組みではない。指定管理料の大部分が人件費に充てられている状況においては、指定管理者の努力のみで利用者サービスのさらなる向上を求めることには一定の限界があり、施設の特性を踏まえた市の支援のあり方についても検討が必要。